

市川市市民活動団体支援金交付申請書

27 年 8 / 月 29 日

市川市長

団 体 名 特定非営利活動法人  
いちかわ地球市民会議  
代 表 者 名 理事長 青山 真二  
所 在 地 市川市鬼越 1-23-3 松本方  
電 話 047 (336) 4656

市川市市民活動団体支援金の交付を受けたいので、市川市納税者等が選択する市民活動団体への支援に関する条例第5条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

1. 事業の名称

地産地消を通して食料自給率やフードマイレージ等を学びプログラムを作る

2. 事業の概要

環境に寄与する食生活を体験し学び、市川市で取れた野菜などでエコクッキングを体験  
市川の自然にも触れられ、ソーラークッカー実演も楽しめる

3. 事業費総額 100,000 円

4. 交付申請額 50,000 円

5. 添付書類

- (1) 団体概要調書 (様式第2号)
- (2) 規約、会則、定款等の写し
- (3) 市川市市民活動団体支援金申請事業計画書 (様式第3号)
- (4) 市川市市民活動団体支援金申請事業収支予算書 (様式第4号)
- (5) 団体の事業報告書、収支決算書の写し (直近のもの) 等の市長が必要と認める書類



団体概要調書

1 団体の概要

団体名	特定非営利活動法人 いちかわ地球市民会議		
市内事務所の所在地	〒272-0022 市川市鬼越1-23-3 松本方		
	【専用事務所：○住居と兼用・その他( )】		
	電話	047 (336) 4656	FAX 047 (334) 5207
主たる事務所の所在地	市川市鬼越1-23-3		
代表者氏名及び役員氏名	【代表者氏名】 理事長 青山 真二		
	【役員氏名】書ききれない場合は、別紙に記入の上添付してください。		
	役職	氏名	住所
連絡責任者 ※ この申請について問い合わせをしたときに対応できる方			
主な活動地域	※ 該当する□にチェックしてください。  <input type="checkbox"/> 国府台 [国府台] <input type="checkbox"/> 国分 [北国分、中国分、堀之内、稲越町、東国分、国分] <input type="checkbox"/> 曾谷 [曾谷] <input type="checkbox"/> 大柏 [大町、大野町、南大野、柏井町、奉面町] <input type="checkbox"/> 宮久保・下貝塚 [宮久保、下貝塚] <input type="checkbox"/> 市川第一 [市川、市川南3、4丁目、真間1丁目] <input type="checkbox"/> 市川第二 [市川南1、2、5丁目、新田、平田、大洲、大和田、稲荷木、東大和田] <input type="checkbox"/> 真間 [真間2～5丁目] <input type="checkbox"/> 菅野・須和田 [菅野、須和田、東菅野] <input type="checkbox"/> 八幡 [八幡、南八幡] <input type="checkbox"/> 市川東部 [北方町、本北方、若宮、北方、中山、鬼越、高石神、鬼高] <input type="checkbox"/> 信篤・二俣 [田尻、高谷、原木、二俣、二俣新町、高谷新町] <input type="checkbox"/> 行徳 [河原、妙典、下妙典、下新宿、本行徳、本塩、関ヶ島、伊勢宿、富浜、未広、塩焼、宝、幸] <input type="checkbox"/> 南行徳 [押切、湊、行徳駅前、入船、日之出、湊新田、香取、欠真間、福栄、南行徳、相之川、新浜、塩浜、広尾、島尻、新井] <input checked="" type="checkbox"/> 市内全域		

活動の分野	主分野 (1つ)	7	その他 分野	
設立年月日	平成 11 年 10 月 15 日		会員数	4 5 名 (27 年 1 月現在)
ホームページ	http://ichikawachikyuu.web.fc2.com/		E-mail	Ichikawa.chikyuu-jimu@ne.jp
会報等の発行	有 ( 回 発行 ) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>			
団体の活動目的  ※ 団体の活動目的を簡潔明瞭に記入してください。	<p>「地球市民」として地球温暖化防止、森林破壊防止、生態系の保存、及びゼロ・エミッションの推進に取り組みため、市川市民を中心に地球環境の保全を行い、人類が地球上に多くの生物と永続的に共生可能な環境づくりを行うことを目的とする。</p> <p>(注) 団体の定款や規約の活動目的に「社会貢献に係る分野の活動（不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とするものに限る。）」のことが定められていますか。( <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ )</p>			
主な事業内容	<p>地球資源、リサイクル、環境マネジメントなど環境保全に関する専門的研究事業、2ヶ月に一度、定期的に定例会を開催し情報交換を行う事業 一般市民を対象とした普及啓発事業・関連する交流事業又は支援事業</p>			
これまでの主な活動実績  ※ 団体の主たる取組を簡潔明瞭に記入してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市川市版環境家計簿を市と協働で制作、</li> <li>・活動実績が評価され環境大臣賞を受賞</li> <li>・常夜灯を太陽光点灯プロジェクトを実施</li> <li>・エコツアーの実施(平成 16 年度)</li> <li>・千葉商科大学で地域環境社会論で講師。</li> <li>・市民活動団体支援事業-1%事業-活動</li> </ul> <p>(平成 17 年度：エコクッキング・買い物ゲーム・野鳥観察等の実施、平成 18 年度：地球温暖化防止親子セミナー、平成 19 年度：環境共育教材「地球温暖化防止もったいない物語」の制作、平成 20 年度：もったいない物語 part2 製作、平成 21 年度：温暖化防止共育用「子供紙芝居」作成、平成 22 年度：市内の竹などを素材とした製品作りによる市内産品の消費促進と環境共育) 平成 23 年度：「鴨ネギプロジェクト」 平成 24 年度：「ソーラークッカー（太陽調理器）を作ろう」 平成 25 年度：「ソーラークッカーを利用したエネルギーショップ」 26 年は地域の農業・魚業の温暖化状況を調べ冊子を作成</p>			
団体の特徴、アピールをしたいこと等	<p>地球温暖化を防止しよう！ 資源を大切に使う行こう！ 自然環境を守って行こう！</p>			
市からの他の補助金等	<input type="checkbox"/> 有 (名称： ) <input checked="" type="checkbox"/> 無			

2 活動計画書 ( 27 年 4 月 1 日から 28 年 3 月 31 日まで)

事業の実施に関する事項

(1) 社会貢献活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数 (延べ)	受益対象者の範囲及び予定人数 (延べ)	事業費の予算額 (千円)
1%支援事業を記載 エコクッキング を通して千産千 消を学ぶ	市川産から(旬を 学ぶ)エコクッキ ングを実施	4月～	大野の 畑等	10名 他、市川 市民	13名他 一般市民	100
プロジェクト事 業	公民館等でフード マイレージ講座実 施	6月～	公民館・ 自治会 等	20名	不特定多数	100
省エネ普及啓発 事業	市内で取れた野菜 でエコクッキ ング、及び京葉ガス 事業	9月～	市内・公 民館等	10人	20名～	160
交流事業  定例会事業	環境フェア・市民 祭り等 活動報告・研究発 表	6月 11月 偶数月	市内	20名  30×6＝ 180名	不特定多数	40
小計				240 (a)	60 (b)	400 (c)

(2) その他の活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数 (延べ)	受益対象者の範囲及び予定人数 (延べ)	事業費の予算額 (千円)
運営会議	運営会議 (8回開催)	奇数月他	市川市 民談話 室	13×8 104名		55
小計				104 (d)	0 (e)	55 (f)

合計	(a) + (d) = (g) 344	(b) + (e) = (h) 60	(c) + (f) = (i) 455
----	------------------------	-----------------------	------------------------

全活動に占める社会貢献活動の割合 ※ 小数点以下は四捨五入してください。	(a) / (g)	(b) / (h)	(c) / (i)
	70%	100%	95%

3 収支予算書（27年4月1日から28年3月31日まで）

(1) 収入の部

単位：円

科目	金額	説明（積算等）
1 会費収入	155,000	
年会費収入	150,000	
賛助会収入	5,000	
2 事業収入	30,000	
3 補助金収入	100,000	
1%支援事業	50,000	
京葉ガス補助事業	100,000	
4 寄附金収入	70,000	
5 その他収入		
6 前年度繰越金		
収入合計	455,000	

(2) 支出の部

単位：円

科目	金額	説明（積算等）
1 支援対象事業	200,000	様式第4号の支出合計と同額を記載します。
2 事業費		
プロジェクト事業	100,000	
旅費交通費	50,000	
消耗品費	40,000	市民祭り、イベント等備品
資料費	10,000	資料コピー代等
小計	100,000	
省エネ普及啓発事業	100,000	
広告宣伝費	50,000	サーバー管理費、他
講師謝礼	30,000	
通信費	20,000	
小計	100,000	
交流事業	25,000	
備品・消耗品費	25,000	
小計	25,000	
定例会・運営会議	30,000 30,000	会場運営・使用料等
支出合計	455,000	

市川市市民活動団体支援金申請事業計画書

事業の名称	地産地消を通して食料自給率やフードマイレージ等を学びプログラムを作る	
目的及び効果	<p>(目的) 市内の農家で取れる野菜等収穫を体験し、地域を巻き込み、エコクッキングを実施併せて食料自給率を学びフードマイレージ(何処から来たの?)を学ぶ</p> <p>(効果) 市川市の農産物を見直すことが出来ること 地産地消を体験できる 日ごろ食卓に上る材料の見直し出来る</p>	
事業内容	主な対象者	市川市在住の市民
	実施期間	2015年4月1日～12月をめぐりに
	実施場所	公民館や自治会会場など
	内容	<p>農家で農作物の収穫を体験 地産地消を学び、エコクッキングの実施で自分の家の食卓を見直す機会になる その上で、フードマイレージ(何処から来たの?)を学ぶ</p>
事業スケジュール 別紙添付可	時期(月)	内容
	4月～	市内の農家で野菜の収穫体験 取れた野菜でエコクッキング
	6月～	フードマイレージを学ぶ
9月～	エコクッキング体験	

<p>広報計画・方法</p>	<p>※ 広く市民の参加を呼びかけるための具体的な広報計画等を記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● インターネットを活用し情報発信を行う。</li> <li>□ フリーペーパーへの掲載を行う。</li> <li>□ 広報いちかわ（市民の広場）に掲載する。</li> <li>● その他 （チラシを作成し、配布する）</li> </ul>						
<p>新規事業、継続事業 の別</p>	<p>※ 申請事業について、該当する□にチェックしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ ① 市民活動団体支援金の交付申請をするのは初めてである。</li> <li>● ② 以前に市民活動団体支援金の交付申請をしたことがある。</li> </ul> <p>②に該当した場合、記入してください。</p> <table border="1" data-bbox="488 734 1377 864"> <thead> <tr> <th>今回の交付申請額 (a)</th> <th>前回の届出総額 (b)</th> <th>差額 (a) - (b)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">50,000 円</td> <td style="text-align: center;">39,487 円</td> <td style="text-align: center;">10,513 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;改善点・変更点&gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>前回の申請事業からの改善点、変更点等を記載してください。</p> <p>興味を持つ方が特定されたため、今回は親しみをもてる活動を検討した。</p> </div>	今回の交付申請額 (a)	前回の届出総額 (b)	差額 (a) - (b)	50,000 円	39,487 円	10,513 円
今回の交付申請額 (a)	前回の届出総額 (b)	差額 (a) - (b)					
50,000 円	39,487 円	10,513 円					

様式第4号（第2条関係）

市川市市民活動団体支援金申請事業収支予算書

事業の名称： 地産地消を通して食料自給率やフードマイレージ等を学びプログラムを作る

1 【収 入】 (単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
会費収入	20,000	団体の本会計より充当
事業収入	20,000	参加者より (1000円×20人)
補助金収入	50,000	市川市市民活動団体支援金
寄附金収入	10,000	関係者よりの寄付金
合 計	100,000	

2 【支 出】 (単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
報償費	35,000	講師謝礼、講師の弁当代、飲み物代等
交通費	15,000	講師及びスタッフ等の交通費
消耗品費	15,000	キット、プログラム作成費、文房具等
印刷費	5,000	コピー他
通信運搬費	10,000	キット等宅配便、切手、レンタカー等
食材購入費	10,000	クッキング材料等
食糧費		
備品購入費	5,000	クッカー材料等
保険料		
その他	5,000	予備費
合 計	100,000	

3 その他

交付決定額が交付申請額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

(  はい ・  いいえ )

備考 支援金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。なお、実績報告書の提出時に支援決定事業収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。



# 特定非営利活動法人いちかわ地球市民会議・定款

## 第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、名称を特定非営利活動法人いちかわ地球市民会議とする。

(事務所)

第2条 本会は、事務所を千葉県市川市内に置く。

(目的)

第3条 今日、人類は「地球市民」として地球温暖化防止、森林破壊防止、生態系の保全およびゼロ・エミッションの推進に取り組まなければならない。本会は市川市民を中心に地球環境の保全をおこない、人類が地球上に多くの生物と永続的に共生可能な環境づくりをおこなうことを目的とする。

(活動)

第4条 本会は、第3条の目的を達成するために、次に掲げる種類の特定非営利活動を行う。

- (1) 環境の保全を図る活動
- (2) まちづくりの推進を図る活動
- (3) 国際協力の活動
- (4) 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

(事業)

第5条 本会は、第3条の目的を達成するために、次の各号の事業を行う。

- (1) 特定非営利活動に係る事業
  - ①環境保全の調査研究事業
  - ②一般市民に対する普及啓発事業
  - ③関連する他団体との交流事業又は支援事業
  - ④活動報告、研究発表をする定例会事業
  - ⑤上記に付随する事業
- (2) その他の事業
  - ①業務の請負業
  - ②物品の販売および斡旋業

2 前項の2事業について、「その他の事業」は、「特定非営利活動に係る事業」に支障がない程度に限っておこない、かつ事業収益を生じた場合には「特定非営利活動に係る事業」にあてるものとする。

## 第2章 会 員

(会員の種別)

第6条 本会の会員は、次の2種類とする

- (1) 正会員 本会の趣旨に賛同し入会した個人
- (2) 賛助会員 本会の活動に賛同して資金の提供などをおこなう団体および個人

2 正会員をもって特定非営利活動促進法（以下、「法」という）にいう社員とする。

3 正会員は本会の活動に参加する、もしくは、本会の目的に適合する活動をする。

(入会)

第7条 本会に会員として入会しようとする者は、本人が書面をもって理事長に申し込むものとする。理事長は正当な理由がない限り入会を拒否してはならない。

(会費)

第8条 正会員および賛助会員は、理事会が定める年会費を納入しなければならない。納付された会費は返却しない。

(会員資格の喪失)

第9条 会員が次の各号の一に該当する場合には、この定款全体に定める会員の資格を喪失する。

- (1) 退会の意思表示をしたとき
- (2) 督促をもってしても年会費を1年間支払わないとき

平成25年度 特定非営利活動に係わる事業報告書

1. 主な事業内容

東日本東北沖大震災後の原発事故は、環境に与えるリスクと莫大な経済的負担の大きさを世界中が再認識することとなった。その反面、エネルギー供給の主軸が化石燃料へシフトされたため、よりCO2が削減されるエネルギー政策の見直しが問われている。

都市の低炭素化の促進に関する法律（通称：エコまち法）が2012年12月に施行された。市街地の拡大に伴い肥大した都市基盤ストックの管理・更新コスト、福祉、衛生等にかかる経費などの行政サービスコストを適正化し、日常生活に必要なまちの機能が、身近なところに集積され、流通も含めた移動・運搬車両に、住民が過度に頼ることなく、公共交通によってこれらの機能にアクセスできるような「コンパクトなまちづくり」を進めていくことが背景となっている。

今年度は、NPO法人気候ネットワークとの協働で、自立した「地域版スマートコミュニティ」を目指しつつ、有識者を交えてワークショップ等の勉強会を行った。

さらに並行してフェリス大学とも協働し、ソーラークッカーを用いた自然エネルギーの有用性や、フードマイレージ学習会等も継続し、食に対する環境コストを意識したイベントを通して、市民に対するCO2削減のための啓発活動を継続して行った。

2. 事業実施に関する事項

事業名	事業内容	実施	実施	従事者人数	参加者
1 定例会事業	活動報告研究発表などの定例会開催（年6回開催）	偶数月最終金曜日	市民談話室5F会議室	15人	40名
2 運営会議	定例会議題検討、事務局会議	奇数月1回	同上4F1	15人	15人
3 普及事業	エコアクションサポート事業の開催及び1%支援事業	11/10、6/15、10/20、11/2	市川市公民館、他	20人 20人	多数名
4 省エネ普及及び啓発事業	気候ネットワークとの共催事業「低炭素地域戦略会議・市川編」開催	3/8	男女共同参画センター	15人	多数名
5 プロジェクト事業	天候不良のため実施できず				
6 啓発事業	環境フェア、市民祭り、環境健康勉強会等の実施	6/15月1回	市川市&現産館、i-link他	15人	多数名
7 交流事業	市民まつり等イベントの参加、	11/2他 11/10	市川市内 駅南公民館	15人 15人	多数名
8 広報事業	公式Webサイトの充実と機能強化	適宜		運営委員、他	

平成25年度 その他の事業報告

特定非営利活動法人 いちかわ地球市民会議

1. 事業内容

平成25年度については、とくに実施はない。

以上

特定非営利活動法人 いちかわ地球市民会議 25年度収支報告書

科目	金額(円)		
	当初予算(A)	25年度実績(B)	差額

経常収入の部	差額(B-A)			説明
活動収入				
交流支援事業	0	0	0	
定例会事業	30,000	27,390	▲2,610	市民祭り等コーヒー売り上げ
補助金収入	100,000	50,000	▲50,000	1%支援金
会費及寄付金収入				
会費収入	150,000	94,842	▲55,158	年会費及び資料代等
賛助会費収入	5,000	5,000	0	賛助会費
寄付金収入	70,000	15,000	▲55,000	有志による寄付金等
経常収入合計	355,000	192,232	▲162,768	

経常支出の部	差額(A-B)			
交流支援事業	0	0	0	
定例会事業	50,000	49,962	38	講師料・イベント等材料費
普及啓発費	100,000	124,610	▲24,610	1%費用・市民祭り会場テント等
消耗品費	20,000	17,605	2,395	インク・イベント等に係る費用
旅費交通費	35,000	27,340	7,660	イベント参加者交通費他
広告宣伝費	50,000	40,000	10,000	HP維持管理費等
通信費	25,000	10,955	14,045	郵便・郵送料等
資料費	15,000	7,153	7,847	プロジェクター修理費・カラー用紙等
備品費	0	0	0	
租税公課	0	0	0	
予備費	60,000	0	60,000	
経常支出合計	355,000	277,625	77,375	

25年度収支差益	実績
前年度(25年3月31日)残高	323,789
経常収入合計	192,232
経常支出合計	277,625
26年3月31日残高	238,396

## 団体要件・事業要件確認シート

◆確認事項

団体要件	<p style="text-align: center;"><u>以下の項目について、該当する□にチェックをしてください。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 市内に事務所を有し、主として市内において活動をしている</li> <li><input type="checkbox"/> 規約、会則、定款等を有している</li> <li><input type="checkbox"/> 申請の提出時において、1事業年度以上継続的な活動の実績がある法令、条例等に違反する活動をしていない</li> <li><input type="checkbox"/> 公序良俗に反する活動をしていない</li> <li><input type="checkbox"/> 福祉、環境、文化、スポーツ、青少年育成その他の社会貢献に係る分野の活動（不特定かつ多数のもの利益の増進に寄与することを目的とするもの）を行うことを主たる目的とし、営利を目的としていない</li> <li><input type="checkbox"/> 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを主たる目的としていない</li> <li><input type="checkbox"/> 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを主たる目的としていない</li> <li><input type="checkbox"/> 特定の公職（公職選挙法第3条に規定する公職）の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的としていない</li> <li><input type="checkbox"/> 団体又は構成員が暴力団等に該当していない</li> <li><input type="checkbox"/> その他、市民活動団体としてふさわしくない行動を行っていない</li> </ul>
事業要件	<p style="text-align: center;"><u>以下の項目について、該当する□にチェックをしてください。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 原則として市内において実施するもの</li> <li><input type="checkbox"/> 福祉、環境、文化、スポーツ、青少年育成その他の社会貢献に係る分野のもの</li> <li><input type="checkbox"/> 営利を目的としない</li> <li><input type="checkbox"/> 市民を主たる対象としている</li> <li><input type="checkbox"/> 当該市民活動団体の構成員のみを対象とする事業ではない</li> <li><input type="checkbox"/> 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを目的とする事業ではない</li> <li><input type="checkbox"/> 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを目的とする事業ではない</li> <li><input type="checkbox"/> 特定の公職の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的とする事業ではない</li> <li><input type="checkbox"/> 支援金の交付予定の年度に、申請事業について、市川市から補助金又は委託等を受けていない</li> </ul>

当団体や申請事業は、団体要件・事業要件に該当するとともに、申請書等の記載事項は上記のとおり事実と相違ありません。また、暴力団等に該当の有無について、市川市が市川警察署に照会することに同意します。

団体名 特定非営利活動法人いちかわ地球市民会議

代表者（職・氏名）理事長 青山 真二

